

実戦形式！ 行政書士試験 直前対策予想模擬試験＋法改正対策 2012 年版 ＜正誤表＞

●第 1 回予想模擬試験 13 ページ 問題 22 問題文 1 行目

【誤】 普通地方自治法の議会に関する

【正】 普通地方**公共団体**の議会に関する

●第 1 回予想模擬試験 24 ページ 問題 41 問題文 下から 4 行目

【誤】 国会議員の立法[ア]は、立法の[イ]が

【正】 国会議員の立法[ア]は、立法の[**エ**]が

●第 3 回予想模擬試験 11 ページ 問題 15 選択肢 2

【誤】 採決で、当該審査請求を却下する。

【正】 採決で、当該審査請求を**棄却**する。

●第 3 回予想模擬試験 23 ページ 問題 36 選択肢 1

【誤】 責任を負わなければならない、この責任は、特約で排除することができない。

【正】 責任を負わなければならない**が**、この責任は、特約で排除することができる。

●第 3 回予想模擬試験 23 ページ 問題 36 選択肢 3

【誤】 買入をする物品は、動産に限られる。

【正】 買入をする物品は、動産に限られ**ない**。

●第 3 回予想模擬試験 40 ページ 問題 59 下から 12～10 行目

【訂正】 [ウ]の直後の以下の文は不要ですので削除します。

その苦しい世帯を遣り繰り(やりくり)して、許された時間と経費の範囲内で研究するにしても、場合によってはまた色々意外な拘束の起こることが可能である。

●解答・解説編 16 ページ 解説 1 肢 3 の解説

【訂正】 解説内容に不足がありましたので以下の文に訂正します。

3 ○ 日本国民で年齢満 18 年以上の者は、成年被後見人を除き、国民投票の投票権を有する(国民投票法 3 条、4 条)。ただし、成年年齢を現行の 20 歳から 18 歳に引き下げるのに必要な法制上の措置が講ぜられ、18 歳以上 20 歳未満の者が国政選挙に参加することができるようになるまでの間は、20 歳以上の者が投票権を有する(同法附則 3 条)。

●解答・解説編 32 ページ 解説 45 右段 (解答例)2 行目

【誤】 B の請求を拒むことができる。

【誤】 **D** の請求を拒むことができる。

＜本書サポートサイト＞

<http://www.shuwasystem.co.jp/support/7980html/3390.html>

＜秀和システム＞

<http://www.shuwasystem.co.jp/>